

3 $f(x) = x^2 - 3$ とおき 曲線 $y = f(x)$ を C とする。 $a_1 = 3$ とし 点 $(a_1, f(a_1))$ における C の接線と x 軸との交点の x 座標を a_2 とする。次に 点 $(a_2, f(a_2))$ における C の接線と x 軸との交点の x 座標を a_3 とする。同様に 3以上の自然数 n に対し 点 $(a_n, f(a_n))$ における C の接線と x 軸との交点の x 座標を a_{n+1} とする。

(1) a_2, a_3 を求めよ。

(2) 自然数 n に対して $a_n > \sqrt{3}$ を示せ。

(3) $a_{n+1} - \alpha = \frac{1}{\beta}(a_n - \alpha) + \frac{3}{\beta} \left(\frac{1}{a_n} - \frac{1}{\alpha} \right)$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) を満たす正の実数 α, β を求めよ。

(4) $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ の値を求めよ。

解法の糸口

① 点 $(a_n, f(a_n))$ における接線の方程式 $y - (a_n^2 - 3) = 2a_n(x - a_n)$ より $y = 2a_n x - (a_n^2 + 3)$

② $a_{n+1} = \frac{a_n^2 + 3}{2a_n}$ ただし C の接線と x 軸との交点が存在するためには $a_n \neq 0$

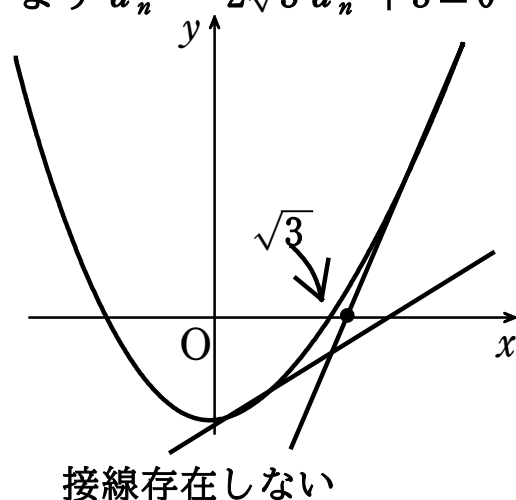
③ $a_{n+1} = \sqrt{3}$ と仮定すると $\frac{a_n^2 + 3}{2a_n} = \sqrt{3}$ より $a_n^2 - 2\sqrt{3}a_n + 3 = 0$

$(a_n - \sqrt{3})^2 = 0$ $a_{n+1} = a_n$ となって
題意を満たさない よって $a_{n+1} \neq \sqrt{3}$

④ 曲線 $C: y = x^2 - 3$ は下に凸の放物線
題意を満たす a_{n+1} が連続して存在するためには接点の x 座標は $\sqrt{3}$ より大きく
なければいけない。

なぜならば $a_{n+1} = a$ とおく。

ただし $a < \sqrt{3}$ と仮定する



$$\frac{a_n^2 + 3}{2a_n} = a \text{ より } a_n^2 - 2aa_n + 3 = 0 \quad a < \sqrt{3} \text{ と仮定しているから}$$

$$\frac{\text{判別式}}{4} = a^2 - 3 < 0 \text{ となって 実数 } a_n \text{ は存在しない。}$$

$$\text{また } a_n \neq \sqrt{3} \text{ であるから } a_n > \sqrt{3}$$

$$\textcircled{5} \quad a_{n+1} = \frac{1}{2}a_n + \frac{3}{2a_n}$$

$$a_{n+1} - \alpha = \frac{1}{\beta}(a_n - \alpha) + \frac{3}{\beta} \left(\frac{1}{a_n} - \frac{1}{\alpha} \right) \text{ より } a_{n+1} = \dots$$

係数比較することで α, β を決める

$$\textcircled{6} \quad \lim_{n \rightarrow \infty} a_n \text{ の値}$$

おそらく (3) の適用だろう。さしあたって 結果を求めておこう。

題意より $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ の極限值が存在するから この値を r とおくと極限值

$$r = \frac{1}{2}r + \frac{3}{2r} \text{ が成り立つ。 } r \text{ を求める しかし これでは正答にはな}$$

らないですね...

感想

安田グループ (2) は数学的帰納法で示してあるが ここでは判別式を適用した。関数と数列 なかなか面白い題材でしたね。有難う...

解答

これまでの詳細な解答を求めたいときは メルカリにて 徳島大学数学を購入して照してくださることをお願いいたします。